

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1490200357
法人名	有限会社 ライフ・フレンド
事業所名	グループホーム 地域の絆 横浜
訪問調査日	2016年3月9日
評価確定日	2016年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
 外部評価は20項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [次ステップに向けて期待したい内容]  
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 27 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490200357	事業の開始年月日	平成27年2月1日	
		指定年月日	平成27年2月1日	
法人名	有限会社 ライフ・フレンド			
事業所名	グループホーム 地域の絆 横浜			
所在地	( 221-0843 ) 神奈川県横浜市神奈川区松ヶ丘39-7			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	名	
		ユニット数	ユニット	
自己評価作成日	平成28年2月29日	評価結果 市町村受理日	平成28年5月2日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者様や家族のニーズに向き合い、たとえ高齢になっても身体が不自由になっても、地域の中で暮らしを楽しみ、生きがいを持ち続けられるよう支援します。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成28年3月9日	評価機関 評価決定日	平成28年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は(有)ライフ・フレンドの経営です。同法人は横浜市神奈川区で、小規模多機能事業所3か所、居宅介護支援、ディサービス、有料老人ホーム等の事業を幅広く展開しています。「グループホーム地域の絆横浜」は1階に介護支援センター、2階が小規模多機能事業所、3階にグループホームとサービスの充実した併設施設で、平成27年2月に開設した、新しい設備も整っている事業所です。場所は横浜駅から三ツ沢方面へ15分程歩いた高台にあります。

●「地域の絆横浜」は1ユニット6人という少人数のグループホームということもあり、利用者との関わりも密接で、アットホームな雰囲気の中で職員と利用者が和気あいあいと過ごしています。職員一人ひとりが「利用者第一」という意識が高く、利用者の笑顔・信頼に繋がっています。開設時から地域との関係づくりに力を入れてきたということもあり、自治会の加入、現在は地域の独居の方の見回り隊にも参加しています。法人として地域密着に力を入れており、グループホームをはじめとして、小規模多機能の良さを地域に発信していきたいと考えており、運営推進会議を通して町内会長や民生委員等に協力をいただきながら地域に根差した活動を広めています。

●法人の理念①最善の福祉サービスの提供に努め地域の福祉の向上に貢献します②可能性を信じ伴に学び・育ち・創るを合言葉に全員でより良い職場を創ります③コミュニケーションの輪(和)を創ろう、を掲げ入職時に法人としての思いを伝え、フロアに掲示し毎日のケアで共有しています。職員の体制については、管理者の下に主任や副主任の役職者を配置し、ケアの統一化を図っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 地域の絆 横浜
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ間で日々のケアの中でも理念の確認共有を意識し、掲示板の共有部分にも理念を掲示して、ケアに活かすようにしている。	法人の理念を事務所、フロアに掲げ、入職時に法人として目指している事、思いを伝えています。毎日のケアの中で共有し、確認しています。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域自治会の催物には積極的に参加し、民生委員等の紹介で施設内でのフラダンス、三味線等を通し地域との交流を深め、地域密着型サービスを目指している。	自治会に加入し、回覧板を通して地域の情報を把握し、行事には積極的に参加しています。民生委員等の紹介でフラダンスや三味線の方に定期的に来ていただき、小規模多機能の利用者と共に楽しんでいます。また、地域の見回り隊と共に独居の方の見回りを行っています。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議などを通じ、認知症の実態についての理解を深めて頂く様努めている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通じ、町会、地域住民、利用者からそれぞれの立場の意見、疑問、要望を聞き、より良いサービス提供に役立っている。	2か月に1回、町内会長・民生委員・ケアプラザ主任・家族・利用者の出席で開催しています。町内会長は毎回参加して頂き、民生委員からは地域の情報をもらい参考にしています。会議を通してグループホーム・小規模多機能の良さを広めることが出来るよう、努めています。		今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護全般に関する報告、相談等常により良い協力関係を築いている。	議事録の提出や、分からないことがあれば相談し教えてもらう等、協力関係を築いています。市からは研修の案内をもらい、極力参加するようにしています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠、柵の禁止は勿論、声かけの方法等についても、ミーティングやスタッフの日常会話の中でも身体拘束の心身に及ぼす弊害を認識し、利用者の人権を守り、よりよいケアを目指している。	入り口は2階の小規模多機能事業所と合同になっており、開放していますが、安全面を考慮してエレベーターはロックしています。日々のケアやミーティングの中でも、拘束の弊害を認識し、気付いたことを話し合い、より良いケアを目指しています。帰宅願望の強い方にも寄り添いと見守りで対応しています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を通じ虐待についてしっかりした認識を持ち、身体的には勿論無意識の言動にも常に自省しスタッフ間でもお互いに注意し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度の理解は勉強会、ミーティングを通し、また日常のケアの中でも理解を心掛けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分に説明を行い、質問したい事や疑問に思った事が無いか確認して頂いた上で契約を結んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族からの意見、要望、苦情は些細な事でもしっかり受け止めより良いケアに反映させるように努力している。	家族からの意見・要望は、面会に来た折に職員が伺い受け止め、より良いケアに反映させるよう努めています。面会にあまり来れない家族でも、日常の消耗品の不足を連絡して持って来ていただいた際に、お話しています。いただいた意見や要望は業務日誌や個人記録に記載し、情報を共有しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフの意見、要望はミーティング、臨時ミーティングで提案し、個別意見等も業務に反映出来るようにする。	朝の申し送りや、必要に応じて臨時ミーティングを開き、職員の意見を聞き、迅速に業務に反映させています。統括→管理者→主任→副主任と体制が整っており、日頃の相談事は主任が把握し、対応について管理者へ伝えていきます。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい環境・条件については、スタッフ間で話し合いを行っている。シフト作りには、スタッフの要望に出来る限り答えるよう配慮している。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等へは出来る限り参加している。新人には先輩スタッフの指導を受けながら業務に取り組んでいる。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修等を通じ、他業者の方々と交流を図りサービスの向上に取り組んでいる。			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所契約時にご家族を交えて不安に思っている事や、希望を聞いている。情報はスタッフで共有して関係作りに役立てている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時以外にも施設訪問時等に近況報告をしたりして困っている事等を聞いたりコミュニケーションを図るよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前情報を基にミーティングなどで話し合い、必要としている支援を見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「介護している」というより「介護させて頂いている」という考えを持ち、一人一人の利用者様がなくてはならない存在であることを伝えている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に、ホームでの生活を報告し、理解して頂いている。また、ご家族の要望や疑問を話して頂き、協力して問題解決に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	事業所とご家族とが協力し合い、手紙や電話で連絡を取るなど馴染みの関係が途切れないよう支援している。	事業所と家族が協力し合い、馴染みの関係が途切れない様支援しています。正月には家族と共に帰宅し、初詣やお墓参りをし、自宅で過ごした方もいます。手紙や電話の取り次ぎ支援も行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しやすい利用者様には会話の橋渡しをし話に入りやすくなるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されてからも必要に応じて相談が出来るような環境作りを心掛けている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活での会話や言動等から何を希望し訴えているのかを把握した上で対応している。ご家族様の情報などから本人の意向を尊重し、希望や思いを把握している。	1ユニット6名と少人数の利点を生かし、一人ひとりと関わる時間を多く持ち、会話の中から聞かれた本人の言葉や思い、家族からの情報を業務日誌に記録し共有しています。入居時に意思の疎通の難しかった方も、表情や仕草から本人が何を望んでいるかを察したり、時間をかけながら接して信頼関係が築けるよう取り組んでいます。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人、ご家族を含め過去の生活歴や経験を聞き利用者様の介護計画書を作成し、全スタッフが把握出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日利用者様の行動を細かく記録に記入し生活パターンを把握しながら支援を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様ご本人やご家族様の思いや意見を聞き、担当者会議を開催し意見交換を行い意向に沿った介護計画を作成している。	入居時にアセスメントシートを作成し、日々のモニタリング、支援計画、日誌等を基に介護計画を作成しています。基本的には6か月毎の見直し、変化があればその都度見直しを行っています。居室担当制を設けており、意見を主任が吸い上げ、介護計画の参考にしています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の個々の状態やニーズに合わせ見直しを行い、介護計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	生活全般を支援し利用者様ご本人、ご家族の状況に応じて必要とするニーズに答えられるように話し合いを行いご本人、ご家族の負担軽減に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加や運営推進委員会を通して、地域資源の把握に努めている。ボランティアの受け入れも行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様ご本人や、ご家族様の希望を大切にしたい受診体制が取れており、緊急時も適切な診療が出来るように支援している。	入居時に家族や本人の希望を確認し、大切にしています。希望があれば、家族対応・事業所対応で受診しています。かかりつけ医からは月に2回の往診があり、歯科は必要に応じて受診しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフは日常の関わりの中で得た情報や気づきを職場内のナースに伝え相談し、個々の利用者様が受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合、その後の状況について常にご家族様と医師や看護師と連携が取れる体制になっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族や医師と話し合いをし、ご家族からの同意を頂いた上で、医師からの指示のもと今後の支援を行っている。	入居時に重度化に対する指針を説明し、同意をいただいています。ご家族の希望により看取りを行う場合は、重度化の際に改めて3者で話し合い、ご家族の意向に沿った支援を行っています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルが作成されており、スタッフがいつでも見られる場所に置いて居る。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間を含んだ災害発生を想定し、避難訓練を行い消防署の指導を受けている。	年2回消防立会いの下、施設全体で実施し、消火器の取り扱い指導を受けながら夜間想定で避難訓練を行っています。また、防災設備業者による防災機器取扱いについても指導を受けています。「施設として地域に一時避難場所として開放してもらえないか」との要請があり、災害時の協定を結んでいます。備蓄品に関しては、今後見直しを検討しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の状況に応じて優しく声かけをしたり、排泄チェックや記録等についてもプライバシーを損ねないように注意している。	尊厳については理念にも掲げており、職員一人ひとりが注意し、プライバシーを損ねることのない言葉かけや対応に配慮しています。本人への呼びかけも、家族・本人の希望を第一に考えて対応をしています。トイレ誘導時も声の大きさに注意しています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の意思や気持ちを理解し、本人の意思を第一に優先しながら、スタッフはさりげなく支援するよう心掛けている。	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、入浴、食事、その他でスタッフの都合や予定があっても本人の拒否があった場合は、強制せずに時間をずらしたり他の方法を試してみる等の対応をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみを整える事が難しい方には、スタッフがさりげなく気を配り衣服の色合い等、その人らしいおしゃれが出来るように支援している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	味付けや盛り付けを工夫したり、食前のテーブル拭きや食後の食器洗い等を出来る人に手伝ってもらい、食事の時間が楽しいものになるよう支援している。	食材はレシピ付きの配食サービスを利用していますが、木曜日・日曜日は職員がメニューから考えて作っています。誕生日には手作りのケーキを出し、正月にはお節料理の出前を提供しています。一つのテーブルを囲って食事をするなど和気あいあいとした雰囲気の中で食事時間が楽しいものになるよう支援しています。出来る方には、下膳や食器洗い等を手伝って貰っています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養価に対しては栄養士に管理された食材を使用している。水分については食事の時間の他に入浴後、散歩後、おやつ時間に提供し必要量を確保出来るよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、就寝時だけでなく、毎食後に口腔ケアを行っている。自力でのケアが困難な方はスタッフが介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表に記録し一人一人の排泄パターンや、排泄リズムを把握し声かけや誘導を行っている。	排泄チェック表にて一人ひとりのパターンやリズムを把握し、声掛けや定時誘導でトイレでの排泄に繋がるよう支援しています。自分でトイレへ行く方もいますが、失敗を防ぐために、仕草等を見ながら声をかけトイレへ促すこともあります。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表に記録し、一人一人の排泄パターンを把握し、野菜の摂取や運動などにより自然排便が出来るように心掛けている。どうしても困難な方には、主治医と相談の上緩下剤を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様お一人お一人の希望やタイミングに合わせて支援できるよう心掛けている。	小規模多機能事業所の浴室を利用しているため、週2~3回午後に入浴しています。拒否のある方はおらず、楽しく入浴して頂けるよう支援しています。現在は使用していませんが、1階に重度化した場合でも対応できる浴槽があります。ゆず湯・菖蒲湯等の季節のお風呂も楽しんでいます。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様ご本人の生活リズムで昼寝や就寝時間を決めて頂いている。又、居室の温度や寝具の整理などに気を配り、気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	いつでもすぐに確認出来るように処方箋ファイルを作成している。配布する際には担当スタッフが他のスタッフへ確認をしてから服薬して頂くようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の得意な事や、興味を持っている事をスタッフが把握し、それぞれを楽しみながら少しでも生き甲斐を感じてもらえるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候のよい日には外気浴として、近所を散歩したり公園へ行ったりと気分転換になるよう支援している。	体調や天候を見ながら、出来る限り毎日近隣を散歩するよう心掛けています。一人ずつ手をつなぎながら出かけています。個別対応で、ドライブや花見等も行っています。家族対応で、外出や外食をしている方もいます。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物にスタッフが付き添い、なるべく支払いはご利用者様に支払って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは事前にご家族様の承諾を頂いた上で対応している。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた貼り絵などの飾り付けをしたり、廊下に利用者様の写真やカレンダーを貼ったりと、楽しく明るい雰囲気を出すよう努めている。	季節に応じた飾り付けをしたり、利用者の写真を飾ったりと楽しい雰囲気を出すよう心掛けています。各居室の入り口には、花の名前の名札をかけ、花柄の壁紙を使う等、おしゃれな雰囲気にも努めています。掃除は早番の職員が行い、空気清浄器を置き、環境整備にも気遣っています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士でお話がしやすいよう席の配置を工夫している。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に利用者様ご本人、ご家族と相談をしながら使い慣れた物や家具などを持ち込んでもらい、居心地の良い居室になるように心掛けている。	居室にはベッド・エアコン・カーテン・タンスが設置してあります。入居時に本人や家族と相談しながら、人形・写真・テレビ等を持ち込んで頂き、居心地よく過ごせる様配慮しています。ご家族が来た際に、雛飾り等の季節の飾りをしている方もいます。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーになっていて、必要な所へ手すりを取り付けられており、利用者様に合わせて手すりの使用を促したり、見守り対応している。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム  
地域の絆 横浜

作成日

2016年3月9日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	218	外出や地域行事参加の機会を増やす。	地域行事への積極的な参加。	運営推進会議や回覧板で地域情報を収集する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。